



清流小学校だより ~7月号~

令和4年7月7日

家庭・学校・地域の連携協働による教育の充実

校長 鹿熊 康成

皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

今年の北陸地方の梅雨は僅か14日間。統計を開始した1951年以来、最速の梅雨明けとなりました。そのため、すでに6月下旬から猛暑日が続いていますが、子供たちはこまめに水分補給をしながら暑さに負けず学習に励んでいます。大休憩や昼の休憩時になると、教職員も子供たちと一緒にグラウンドに出て、鬼ごっこや駆けっこで汗だくになりながらスキンシップを図っています。学校では現在、徒歩による登下校時やグラウンド・体育館での活動時は、熱中症予防の観点から、基本的にマスクを外すことを呼びかけています。そのため、初めて目に映る子供たちの素顔は、とても新鮮です。しかし、これまでのマスク顔を見慣れているため、素顔を一目見ても誰だったか考えてしまうこともあります。きっと、私の素顔も同じ思いで見られているのではないのでしょうか。一人一人の素顔と名前が一致できるように、改めて今から覚えようとしている自分に気付いたとき、どこか不思議な感覚になります。

さて、先日行われた学習参観やリサイクル品回収、学年親子活動では、多くの皆様にご参加いただき、誠にありがとうございました。本校では、遠足や宿泊学習、地域に学ぶ校外学習等においても、感染対策を講じながら滞りなく実施しているところです。コロナ禍によって昨年度まで延期や中止となっていた活動が、感染対策を講じながら実施方法・内容の工夫により、ようやく予定通り実施できるようになってきました。活動の度に子供たちの生き生きとした表情や目覚ましい成長を目の当たりにしたとき、体験活動の教育的価値を改めて実感しました。今後も子供たちのよりよい成長を図っていくために、できない理由を探すのではなく、できる工夫を探し出していくよう努めてまいりたいと思います。

「かしこく」「正しく」「たくましく」生きる子供の育成

これは、清流小学校の「学教教育目標」です。この目標の実現に向けて、校歌の歌詞から以下の「目指す学校の姿」を設けています。

元気な声はずむ学校
(校歌1番目)

明るく夢うつす学校
(校歌2番目)

共に手を取り励む学校
(校歌3番目)

そして、「目指す学校の姿」を具現化するために、今年度、私たち教職員は、以下の「学校づくり」に取り組んでいます。

- ・児童一人一人が輝き、豊かな学びと笑顔あふれる学校
- ・教職員がチームで取り組み、創意と情熱あふれる学校
- ・保護者や地域と連携協働し、信頼と活力あふれる学校

家庭は、子供たちの健やかな育ちの基盤であり、家庭教育は、すべての教育の出発点です。また、保護者と教職員は、共に教育パートナーです。さらに、地域の「人」「もの」「こと」は、大切な教育資源であり、ふるさと教育や郷土愛を育む生きた教材です。保護者の皆様には、家庭教育とともにPTA活動への献身的な参画により、児童の健全育成や教育活動の充実にご尽力いただいています。また、地域の皆様には、校外学習や公民館活動、登下校の見守り等を通して、児童の体験的な学びや安全確保にご尽力いただいています。このことから、清流小学校区には、現に「子供は、家庭で育て、学校で鍛え、地域で磨く（県PTA連合会の基本理念）」環境がしっかり根付いており、大変ありがたく思っています。

これからも、子供たちの幸せのために、家庭、学校、地域がそれぞれの役割を遂行し、相互の連携協働により、教育の充実が一層図られるよう力を合わせてまいりたいと思います。皆様のお力添えをお願い申し上げます。



全校でゲームやクイズを楽しんだよ ～6/29(水)縦割り班ウォークラリー集会～

1～6年生までが一緒になった縦割り班で、様々なゲームに挑戦する「縦割り班ウォークラリー集会」が行われました。この日は、猛暑のため、グラウンドではなく校舎内をめぐるウォークラリーに変更しての開催となりました。集会委員会が企画した運試しサイコロや玉入れ等、班のみんなで楽しむことができるゲームが盛りだくさんでした。



クラブ活動の紹介(4～6年生)

清流小学校では、今年度、「ハンドメイド」「折り紙・工作・クラフト」「パソコン」「伝承遊びレクリエーション」「スポーツ」「茶道」「プログラミング」「室内遊び」「ダンス」「卓球」「書道」「とやまSDGs釣り」の12のクラブ活動を行っています。子供たちは、自分たちが選んだクラブで、異学年の友達と協力しながら、主体的に取り組んでいます。



～1年生の取組より～

「わあい、今日15も咲いたよ！」

「ピンク色の花、咲いたよ！」

1年生教室のベランダは、朝からにぎやかです。1年生は、生活科の学習で1人1鉢のあさがおを育てています。毎朝水やりをして、育っていく様子を見ながら世話をしています。最初は1つぶの小さな種から芽が出て成長し、つるが出て、つぼみから花が咲き…と、どんどん成長していく様子は、1年生にとってとても魅力的な教材です。



生活科の目標は、「具体的な活動や体験を通して、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を育成する」ことです。あさがおを育てることで、子供たちは、まさに生活を豊かにしているようです。

また、4・5月には「学校探検」を行いました。学校にある特別教室(理科室、家庭科室、放送室等)へ行き、見つけたものを絵に描いたり、話し合ったりしました。学校には、学習に合った活動をするための特別な部屋があることを学びました。



4月の入学式から3か月、子供たちは学校生活にも慣れ、できることがどんどん増えています。何も分からなかった4月から、様々なことを吸収し、成長していく子供たち、子供たち自身がまるであさがおのようです。きっとこれからも、さらに成長していくことでしょう。とても楽しみです。